



お客さまが求めるニーズに応え、安全・健康・ゆとり・働きがいのある営業職場を目指して！！

東地申第3号 (2021.9.2)

「2021年度営業関係施策(その1)について

に基づく申し入れ (神田駅・大森駅・浜松町駅)

提出!

東京地本は6月8日、「2021年度営業関係施策(その1)について」の提案を受け、営業職場で働く組合員と共に議論してきました。

本施策は、グループ経営ビジョン「変革2027」「駅の変革」スピードアップの実現に向け、効率的でよりよい生産性の高い業務執行の構築し、当社グループの持続的な成長につなげていくため、駅の運営体制の見直しを行うこととしています。

新型コロナウイルス感染症により、社会全体の通勤スタイル・生活スタイルが大きく変わりつつあります。駅で働く組合員は、乗降数や収入の低下を目の当たりにし、営業職場の将来がどうなるのか大きな不安を抱えています。

私たちは、コロナ感染のリスクに怯えながらも様々な知恵を出しながら、収入の確保や消毒作業等を積極的に担い、お客さまに安心・安全を提供しています。

私たちは、チケットレスを含むICTの進展による利便性の向上や非接触ニーズの高まりなど、社会・経営環境が激変するなかでの構造改革には対応していかななくてはならないと考えます。だからこそ「営業職場の将来像」については、改めて労使で議論しなければなりません。

駅で働く組合員の不安解消やモチベーションの向上はもちろんのこと、お客さまが求めるニーズに応え、組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる営業職場とするために、東京地本は下記の内容で申し入れました。

申し入れ項目

1. 東京支社におけるみどりの窓口を閉鎖する場合の基本的な考え方を示すこと。
2. 神田駅・大森駅のみどりの窓口を閉鎖する根拠を示すこと。
3. 神田駅・大森駅のみどりの窓口閉鎖に関するお客さまへの周知をどのように行うのか示すこと。
4. 神田駅・大森駅のみどりの窓口閉鎖後、窓口での販売を求めるお客さまの要望にどのように対応するのか具体的に示すこと。
5. 神田駅・大森駅のみどりの窓口を閉鎖することでサービスレベルが向上するのか示すこと。
6. 神田駅・大森駅の内勤体制の見直しについて実施するに至った経緯と根拠を示すこと。
7. 神田駅・大森駅の内勤体制の見直しについて、安全レベルや車椅子対応等のサービスレベルが下がらないようにすること。
8. 浜松町駅の窓口営業時間変更により、体制変更を行う根拠を示すこと。
9. 浜松町駅の年末年始などの繁忙期の対応、ならびに外国人旅客への対応について示すこと。
10. 施策実施後は労使で検証を行い、発生した問題点については別途協議するとともに、速やかに解決すること。

建設的な議論で課題解決を目指します!!